

= 受賞 =

本学学生が電子情報通信学会北海道支部 学生会インターネットシンポジウムにて優秀発表賞を受賞

(電気電子工学科)

このたび、本学電気電子工学科の4年生の濱田駿さん、石尾紀幸さんが、電子情報通信学会北海道支部より、2015年度電子情報通信学会北海道支部学生会インターネットシンポジウム優秀発表賞を受賞しました。

同学会北海道支部では、学生による学会活動の活性化を促進するために、毎年2月下旬にインターネット上で論文を投稿・発表し、掲示板上で発表者と閲覧者との間で質疑応答や意見交換などを行うインターネットシンポジウムを開催しています。筆頭著者は、道内の大学院・大学・高専または類似の組織に在籍する学生となっていて、2015年度は、33件の投稿がありました。その中で特に優れた論文を発表していて、かつ質疑等積極的に参加していると思われるものを「優秀発表賞」(大学院生、学部生共通)と「発表賞」(学部生)として表彰する

ものです。受賞者数は発表者数の10%以下となっており、2015年度は優秀発表賞2件、発表賞1件でした。

今回受賞しました論文発表「色素増感太陽電池に用いる低温 TiO₂ 膜の間接プラズマ処理による効果」は、学部4年生とその指導教員である武山真弓准教授、佐藤勝助教が共著したものです。この研究は、熱に弱いフレキシブルな基板においても太陽電池を構成できるように、低温プロセスを用いて色素増感太陽電池を作製したものです。一般には、低温プロセスでは、高効率な太陽電池を作製することが難しいのですが、プロセスを工夫することで、低温でも効率を高めることに成功しました。この研究は、2016年度の4年生に引き継がれ、さらなる発展が期待されています。



IEICE インターネットシンポジウム優秀発表賞の表彰状